

中学生のみなさんへ 大切なお知らせ

\\ 県立高校でえがく あなたのビジョン! //

魅力あふれる県立高校推進ビジョン

～ 未来を生きる力を育む 特色ある学びの場をめざして ～

令和3年度～令和12年度



令和3年4月

香川県教育委員会

中学生のみなさんへ

みなさんは、今、どんな高校生活を思い描いていますか。

香川県教育委員会では、今後 10 年間の県立高校のあり方を示した『魅力あふれる県立高校推進ビジョン』を令和 2 年 3 月にまとめました。『ビジョン』には、県立高校がみなさんにとって魅力にあふれ、未来を生きる力を育てる特色ある学びの場となることをめざして、みなさんに身に付けてもらいたい力や県立高校が取り組むことを書いています。

『ビジョン』によって、高校生活への期待や将来への展望など、みなさん自身のそれぞれのビジョン(将来像)を描いてくれることを期待しています(『ビジョン』本編は県教育委員会のホームページにありますので、詳しくは本編を見てください)。 本編はこちらから>



社会のようすと課題

〈社会の変化〉

(『ビジョン』3 ページ「現状と課題」)

① 新しい時代がやってきます

AIやIoT(モノのインターネット)などが発達して、いろいろな産業や生活に取り入れられ、これまでの社会のあり方やものの考え方が大きく変わる可能性があります。

② グローバル社会が進展しています

外国へ行く人たちだけではなく、すべての人たちが、生まれ育った国や考え方が異なる人たちと一緒に生きていくことが当たり前の時代が来ています。

③ 人口減少が進んでいます

香川県の人口は、平成 11(1999)年の約 103 万人をピークに減少に転じ、令和元(2019)年には約 96 万人と、平成12(2000)年以来20年連続で減少しています。(『かがわ人口ビジョン』より)

④ 災害対応への意識が高まってきています

一人ひとりが、自然災害や感染症の感染拡大などが常に身近にあると考え、それらに対応するための心がまえを持つことが必要になっています。

〈高校をとりまく環境の変化〉

① 18 歳から大人です(令和 4 年 4 月から成年年齢が 18 歳に引き下げられます)

② 人口減少の中にあって地域での高校の役割はますます大きくなっています

③ ネット社会の影響が大きくなっています

④ 高校で学ぶ内容が変わります(令和 4 年 4 月から学習指導要領が変わります)

〈学びのニーズの多様化〉

① 学ぶ内容だけでなく、探究的な学びの重視や企業と連携した学習など、学び方も多様化しています

② 大学入試においては、覚えたものを答える力だけでなく、思考力、判断力、表現力などを評価するようになってきています

③ 高校で「何を学び、何が身に付いたのか」だけではなく、教室の外に出ていろいろな人と一緒に活動しながら学んでいくなどの「どのように学んできたのか」が重視されるようになっていきます

- ・ 未来を予測することが難しい時代になってきています。
- ・ 高校教育のあり方が大きく変わっていく時期を迎えようとしています。

予測することが難しい未来を生きていくために、

県立高校で身に付けるチカラ

(『ビジョン』13 ページ「県立高校において育成すべき資質・能力」)

- 専門性の高い知識・技能
- 思考力・判断力・表現力
- これまでの枠を超えた知識・技能
- 世界で活躍する意識・意欲



グローバル社会
へ対応する力

郷土への理解、
郷土を愛する気持ち

イノベーション
をつくりだす力

知・徳・体の
バランスの良い成長

学びに向かう態度

「県立高校で身に付けるチカラ」を育てるために、

Q1 県立高校は



県立高校ではどんなことが学べるの？

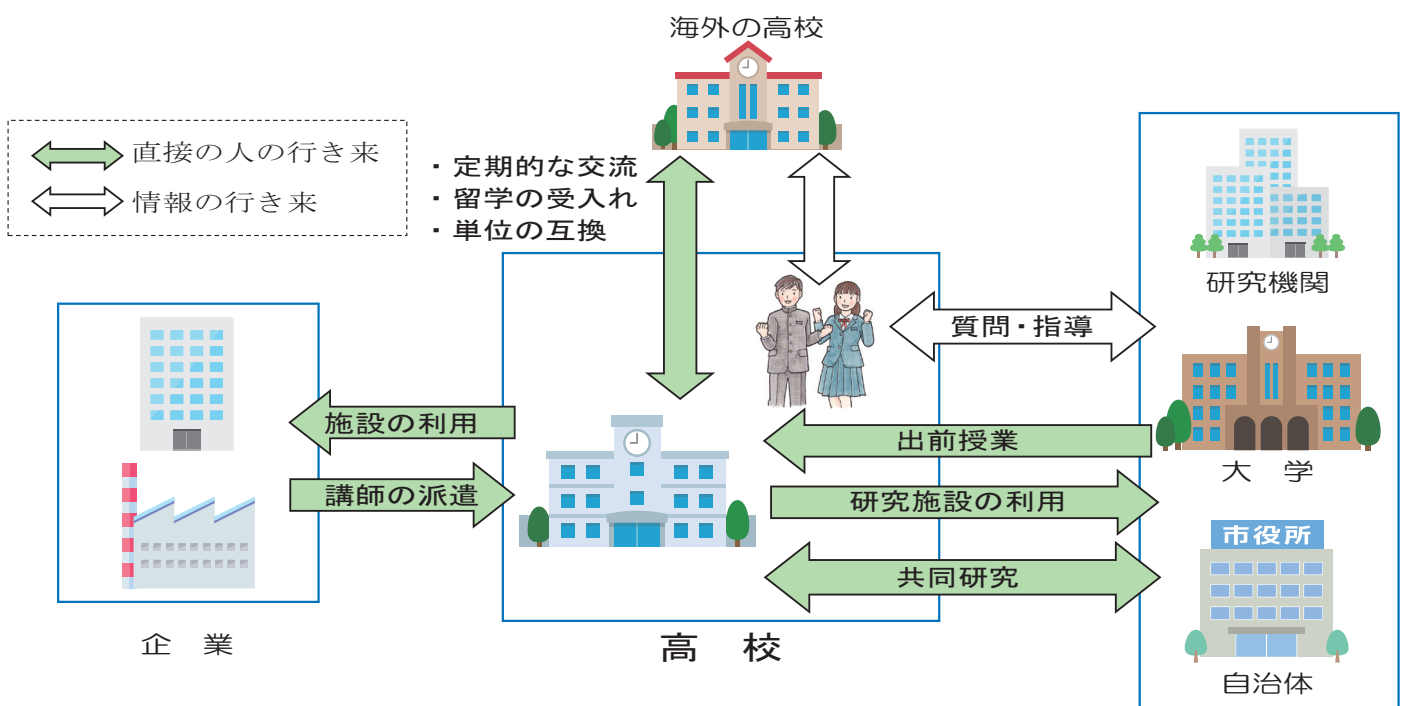
① 地域の課題は、世界の課題！ — 地域課題をテーマにした学習を進めます

- 人口、環境、防災、エネルギー、医療など、地域課題は絶好のリアルな教材です。なかまといっしょに力を合わせて解決方法を探り、自分で課題の解決を図る活動を進めることで、郷土を愛する気持ちをはぐくみ、コミュニケーション能力や相手を尊重する姿勢、イノベーションをつくりだす力(新たな価値を生み出す力)を育てます。



② 世界は大きく動いている！ — グローバル社会に対応する力を育てます

- 自分とは異なる考え方に接する機会やいろいろなコミュニケーションの経験を積むために、県内外や国外の高校、大学、研究機関、企業などとの交流の機会を増やします。



③ 社会はあなたが主役です！ — 責任ある大人となるための学びを進めます

- 主権者教育、消費者教育、環境教育、防災教育など、社会のいろいろな課題に関する教育に取り組みます。

どう変わるの？

(『ビジョン』16ページ「県立高校において推進する教育活動」)



高校選びは、将来選び。
みなさんの“ビジョン”に向けたスタートになる高校を見つけよう!

① 普通科

大学入試でも評価される思考力・判断力・表現力をはじめとする力を育てます。

- 各高校が伝統や地域の資源などを生かして、特色ある教育活動を進めます。
- 自分で学び自分で考える力を育てる探究型の学習を積極的に取り入れていきます。



総合的な探究の時間の授業



探究学習の発表会

② 農業科や工業科などの専門学科※

専門分野の技術と卒業後も学び続ける態度、チャレンジ精神をもって新しいことを行おうとする精神(起業家精神)を育てます。大学などへ進学し、さらに学びを深めることもできます。

- 農業科、工業科、商業科などが連携して「スマート農業」の研究を行うなど、一つのテーマについて学科横断的な学びを進めます。
- 農業科の生徒が作った農作物を家庭科の生徒が調理加工し商業科の生徒が販売するなど6次産業化(生産者が加工と販売も行い、新たな分野へ進出すること)への対応を進めます。



情報科の授業



校外での販売実習(商業科)



米こうじの製造(農業科)

※ 専門学科には、農業科、工業科、商業科、水産科、家庭科、看護科、情報科、福祉科などがあります。

③ 総合学科

“時間割を自分で作る”総合学科の特性をより発揮し、みなさんの「得意」を伸ばします。

- 総合学科は、三木高校、飯山高校、観音寺総合高校に設置しています。
- 総合学科では、福祉、食物、商業、情報、国際など幅広い選択科目の中から自分の興味・関心に応じて科目を選択し、自分のやりたいことを見つけることができます。



総合学科(食物系列)の成果発表会

④ 定時制・通信制課程

- 学び直しの場としての役割も果たすとともに、スクールカウンセラー等と連携して必要な支援をしていきます。
- 現在、全ての定時制と通信制が、全日制と一緒に設置されていますが、定時制・通信制だけの高校の研究を行います。

Q2 県立高校ではどん

高校・学科の再編整備を行います！

みなさんが、より多くのなかまとともに、いろいろなニーズに応じた学びができるように、少子化が進む中であっても高校は一定の規模を維持します。

① 県立高校・学科・コースの配置や整備についての基本的な考え方

- 県立高校で学ぶみなさんが主役です。みなさんの学びに必要な高校とはどのようなものを第一に、今後の県立高校のあり方を考えます。
- 県立高校において育てる、グローバル社会へ対応する力や郷土を愛する気持ち、イノベーションを作り出すために必要な力は、いろいろな考え方を持つなかまと学ぶことではぐくまれることから、高校には一定の規模が必要です。



② 県立高校の配置(東讃地域の場合)

- 三本松高校は、県内で最も東にある県立高校という地理的な環境、国の内外で活躍する人物や地域をリードする人物を送り出してきた伝統を生かしながら、地域のニーズにも対応した高校をめざします。
- 石田高校、志度高校、津田高校は、これまでの伝統と地域を支える人物を送り出してきた特色ある教育を生かし、これをさらに発展させるために統合し、新たな高校を設置します。

「せとうち留学」をはじめます！(全国から生徒を募集します)

みなさんが、いろいろな考え方を持つ全国のなかまといっしょに学ぶ機会を増やします。

- 全国募集を通じて、みなさんがいろいろな考え方に触れる機会をつくり、これを受け入れ、理解しようとする態度や、自分の意見を相手に伝えるためのコミュニケーション能力を育てます。
- 全国募集の合格者数の上限は、県内に住むみなさんの出願に影響が出ないように県内の生徒を対象とした入学定員とは別枠で設定します。

「せとうち留学」はこちらから >



引き続き検討していくことから

- 他学区からの生徒の受入れ
- 中讃地域での新たな中高一貫教育校の設置

なことが行われるの？

(『ビジョン』20ページ「必要な教育環境の整備等」)

各高校において積極的に魅力を発信します！

➡ みなさんが、自分の志望にあった高校を選ぶことができるように積極的に情報を発信します。

- 各高校で、魅力ある教育の実現のための指針としてスクールポリシーを定め、公表します。

スクールポリシーでは、

- ◆ どのような生徒を求めているのか
 - ◆ どのような学びを行い、どのような資質・能力を育てるのか
 - ◆ 卒業時までどのような人物を育てるのか、どのような進路を選ぶことができるのか
- を具体的に示します。

各校のスクールポリシーはこちらから >



ICT環境を整備します！

➡ みなさんが、必要に応じてICT機器を自由に活用できるようにします。

- 各高校・学科の学びに応じたICT機器の整備を行います。
- 活用目的に応じた機器の整備を進め、校内のWi-Fi環境などを充実させていきます。



重点校の指定を行います！

➡ みなさんのいろいろなニーズに応えながら各高校の特色づくりを進めます。

- 各分野において重点的に取り組む高校の指定を行います。例えばグローバルリーダー育成重点校では、国内外の高校との交流や外国語によるディスカッション、プレゼンテーション、探究型の学習、成果発表会の実施、企業や海外の高校・大学と連携した国内外研修などを行います。

地域の課題を解決する学習の場を充実させます！


➡ みなさんのコミュニケーション能力や調整力、プレゼンテーション能力などのグローバル社会に対応するために必要な力を育てます。

- 地域の課題は、全国の課題、世界の課題です。高校の枠を超え、さらに学びを深めるため、これまでも実施してきた香川大学との連携による香川型イノベーションワークショップや瀬戸内アートサマープログラムのような体験型の講座を充実させます。
- 自分とは異なる視点を持つ人と共通の地域課題の解決に取り組むことで、郷土への理解を深め、イノベーションをつくりだすための具体的な方法を学びます。



公立高校 配置図



- 公立高校には、県立高校が29校、市立高校(高松市立)が1校あります。
- 学区は、県の中央を境に第1学区と第2学区に分かれています。普通科と理数科では、みなさんが住んでいる場所の学区内にある高校に出願することになっています。
 - ※ 小豆島中央高校と専門学科(理数科以外)と総合学科は、住んでいる場所に関係なく出願することができます。
 - ※ 高松市国分寺町、丸亀市綾歌町、綾川町に住んでいる場合は、両方の学区の普通科、理数科に出願することができます(上の図の  の地域)。
- 定時制課程は、小豆島中央高校、三本松高校、三木高校、高松高校、高松工芸高校、高松商業高校、丸亀高校、多度津高校、観音寺第一高校の9校に設置しています。
 - ※ 小豆島中央高校、三本松高校、三木高校、高松高校、丸亀高校、観音寺第一高校の6校は、学年ごとの進級認定を行わないで、決められた単位を取れば卒業できる単位制です。
 - ※ 定時制高校の多くは4年間で卒業しますが、小豆島中央高校、三木高校、丸亀高校の3校は、秋入学と3修制(3年間で卒業できる制度)を導入しています。
 - ※ 専門学科は、高松商業高校に商業科、高松工芸高校と多度津高校に工業科があります。
- 通信制課程は、高松高校と丸亀高校の2校に設置しています。

発行

香川県教育委員会事務局 高校教育課

魅力あふれる県立高校推進ビジョン



〒760-8582 香川県高松市天神前6番1号 天神前分庁舎 TEL (087)832-3752 FAX (087)806-0232